

▼フルーツ君をやさしくなでる児童たち



スクールドッグ 命の大切さを学ぶ一日

秦荘東小学校で「スクールドッグ」とふれあう命の学習が行われました。

スクールドッグとは、動物介在教育の一つで、犬との交流を通じて子どもたちの情緒を育み、学校生活を豊かにする取り組みです。

はじめに日本スクールドッグ協会の青木さんから犬と接する大切さについてお話があり、その後レイ君とフルーツ君とのふれあいが始まりました。

児童たちは犬のぬくもりに触れ、「かわいい!」「もふもふしてる」と笑顔を見せました。

最後に保護犬の気持ちを描いた絵本の読み語りがあり、「犬の気持ちを大切にしたい」と話す児童の姿も見られ、スクールドッグとの出会いは、命と向き合う貴重な時間となりました。

▼松林さん（前から3列目の右から3番目）



World of dance 8位入賞

7月20・21日、松林 亜美さんが所属するチーム「M' de fact libera」がアメリカのロサンゼルスで開催された World of dance に団体で出場し、見事8位入賞を果たされました。

松林さんは、高校生の頃からダンスを始め、大学進学後もダンスを続けられ、現在はダンサー MINAMIさんのもと、滋賀・京都・大阪・兵庫のメンバーとともに昨年2月から活動を開始されています。

松林さんは「今後は地元愛荘町で子どもたちにダンスを指導し、たくさんの方にダンスの魅力を伝えていけたら嬉しいです」と話されていました。

今後もさらなる活躍を期待しています。

▼梅原さんのスケッチ画



スケッチ画を寄贈いただきました

梅原 宏夫さんのご遺志を受け、妻の典子さんより旧愛知郡役所のスケッチ画を町へご寄贈いただきました。

梅原さんは愛知高等学校美術部で活躍後、2000年から画家として活動を本格化され、ヨーロッパや日本各地を巡るスケッチ旅行や個展を重ねてこられました。楽しく描き、教えることを喜びとし、多くの仲間と交流を深めながら画家として幸せな人生を歩まれましたが、本年1月に惜しまれつつ生涯を閉じられました。

梅原さんの作品は、ゆめまちテラスえちにて10月31日まで展示されます。ぜひ足をお運びください。



▼大阪ガス株式会社 米田滋賀地区支配人（写真左）



おもちゃを寄贈いただきました

7月29日、大阪ガス株式会社より、社内ボランティア活動「小さな灯運動」で集められた収益金を活用し、乳幼児向けのおもちゃ4点を町に寄贈いただきました。

「小さな灯運動」は1981年から続く取り組みで、大阪ガスやグループ会社の従業員が自発的に募金を行い、地域の児童や高齢者に役立つ物品を各自治体へ贈呈しているものです。

今回寄贈いただいたおもちゃは、子育て支援センター「あいっ子」に設置し、乳幼児が自由に遊びながら成長を育む大切な遊具として活用させていただきます。

温かいご支援に心より感謝申し上げます。

▼あいしょうまちじゅうライブラリー本棚（中央）



本を通じた交流の場を広げよう

7月30日、社会教育委員会議による「あいしょうまちじゅうライブラリー」の第1号本棚が、勝光寺（沓掛）に設置されました。当日は、寺を訪れた子どもたちも参加し、除幕式を行ってお披露目となりました。

「あいしょうまちじゅうライブラリー」は、令和5年度から始まった、まちじゅう読書の推進活動の一環で、今年度は町内13か所の店舗や施設に本棚を設置予定です。町のどこでも身近に本と出会い、気軽に手に取れる環境を整えることで、本を通じた地域交流と人のつながりを広げていきます。

また、今年度も愛荘66かまど祭りで「本の交換会」を開催予定です。ぜひ皆さんお越しください。

▼オリジナルコンポストを作る子どもたち



ミニコンポストづくりで学ぶエコの工夫

8月8日、愛荘子どもの大学による「ミニコンポストづくり」が、ゆめまちテラスえちで開催されました。参加者は、コンポストの仕組みについて講義を受けた後、バナナやキウイ、オレンジなどを味わい、その皮を生ごみとして取り分けました。皮は細かく切って2リットルのペットボトルに腐葉土と一緒に入れ、層になるように重ねていました。

子どもたちは「本当に皮が消えるのかな?」「どんなものを入れても大丈夫かな」と興味津々で、完成したミニコンポストを手に、満足そうな笑顔を見せていました。

制作後には「コンポストカードゲーム」も行われ、遊びを通して理解を深めました。



▼黄瀬さん（写真左）



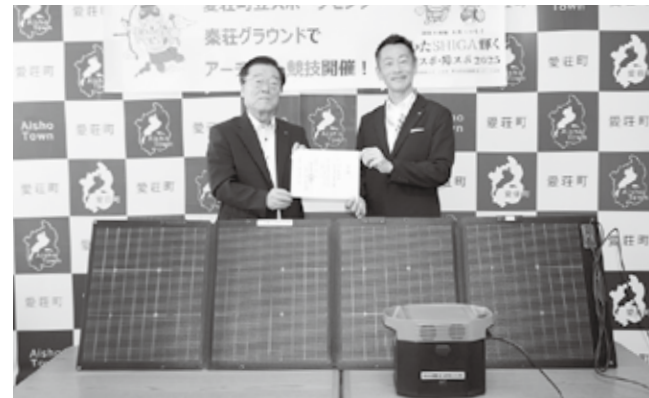
地域おこし協力隊 退任式

7月31日、地域おこし協力隊の退任式が役場本庁舎で行われました。今回、任期を満了したのは黄瀬 尚大さんです。黄瀬さんは3年前に着任し、地域に根ざした活動に尽力されてきました。

黄瀬さんは「地域おこし協力隊として着任してから、あっという間に3年が経ちました。地域の皆さんに温かく迎えていただき、感謝しています。けん玉を通じて子どもから大人まで多くの方と交流できたことも嬉しかったです」と振り返られました。

有村町長からは「これまでに築かれたご縁を大切に、新たな目標に向かって歩んでください」と激励の言葉が贈られました。町と共に歩んできた3年間の経験を糧に、今後のさらなるご活躍を期待しています。

▼ポータブル電源用ソーラーパネル（机上）



防災グッズを寄贈いただきました

8月18日、滋賀県電気工事工業組合様より、防災グッズとして「ポータブル電源用ソーラーパネル一式」をご寄贈いただきました。

愛荘町と同組合は平成20年9月に災害時の電気設備応急復旧に関する防災協定を締結しており、今回で11年連続となる備品の寄贈です。

今回のソーラーパネルは、昨年度寄贈いただいたポータブル電源とともに、9月7日の防災訓練で電力供給源として活用しました。訓練を通じ、有事に備えた実践的な運用を確認するとともに、今後もいただいた備品を適正に活用し、防災体制の強化に努めます。長年にわたる温かいご支援に深く感謝申し上げます。

